

令和6年度

保育所自己評価

かざぐるま保育園

保育方針	自立する子ども、自律する子どもを育てる。 豊かな人間性を持った子に育てる。	保育目標	・五感を育てられる ・生活に根ざし、生活を切り開いていく子ども ・いつも「なぜ」「どうして」と考えられる子ども ・基本的生活習慣の自立 ・豊かな創造性を持てる子ども ・一人ひとりを大切に、みんなが楽しく生き生きと生活する。
評価項目	評価内容	評価 ◎○△	評価理由
保育内容について	・保育課題・保育目標・保育計画等は、定期的に評価見直しをやっている。	◎	保育計画を職員間で年1回見直しをしている。
	・保育目標は全職員で検討し、共通理解している。	◎	年間計画を職員全体で確認し合い検討している。
	・指導計画は、子どもの実態を踏まえた発達過程に応じた作成をしている。	◎	各年度の子どもたちの様子を考えて、保育計画を立案している。
	・子どもへの支援・指導は、保育指針に基づき適切に行っている。	○	かざぐるま保育園の目標と、保育指針と、合わせて子どもたちへの支援を行っている。
	・環境構成は、保育や子どもの発達過程を常に意識して構成している。	◎	子どもたちの成長の様子と合わせて保育内容、環境構成を実施している。
	・行事はねらいを明確にし、計画や実施に十分に生かしている。	◎	各行事は係が中心になってねらいを決めて計画し、実践している。
	・障がいのある子どもが安心して生活できる環境を整備し障がいの特性や発達過程に即した支援をしている。	◎	ひとりひとりの個性を捉えながら、支援をする事が出来た。
	・小学校との連携や就学を見通した計画や教育と保育について保護者に伝えている。	◎	個別の懇談などをして小学校に向けての生活について話している。
健康・食育及び安全について	・子どもの健康管理は一人ひとりの健康状態に応じて対応している	◎	朝の視診や保護者からの連絡を確認し、ひとりひとりの様子を把握した。
	・緊急時（事故、感染症の発生時）における子どもの安全確保のための体制を整備している。	◎	緊急対応マニュアルを作成し、職員間での連絡をしながら対応できるようにしている。
	・子どもの安全確保のために防災に対する計画を立て定期的に訓練を実施している。	◎	毎月火災、地震、洪水を想定した避難訓練を行っている。
	・健康や安全な生活に必要な習慣が身につくための保育を実践し、家庭への情報提供を行っている。	◎	保健日より、感染症については張り紙をし周知している。
	・楽しく食事が出来る配慮や支援及び環境構成を行っている。	◎	マナーを伝えながら、楽しい雰囲気で作事が出来るようにしている。苦手な物も無理はさせず、自分で食べようと思えるような働きかけをする。
	・食物アレルギーの対応誤防止を実践している。	◎	トレイや配膳を別にして対応している。
つ支子 い援育 てに	・保護者の子育て相談や意見には適切な対応と援助を行っている。	◎	保護者からの意見について話を聞き必要に応じて改善に努めた。
	・地域の関わりを大切にし、お日さま広場、育児相談、一時預かりなど積極的に取り組んでいる。	◎	支援センターを開所し、地域の方の利用が多い。地域に出向いての取り組みも行うことが出来た。
質職 つ向員 い上に てに資	・計画的に園内研修を行っている。	◎	毎月1回他必要に応じて研修を行った。
	・諸研修の成果を保育に生かし、子どもたちの育ちに反映している。	○	キャリアアップ研修が中心になりがちで、報告がなかなか出来なかった。
	・自己評価・第三者評価を定期的に内部で実施し、保育の質の向上を行っている。	○	自己評価を行い振り返りになっているが、検討するまでにはいっていない。
運営 い管 て理 につ	・保育所の課題について共通理解し、協働と自己研鑽をしている。	◎	疑問に思うことを出し合い、確認し合うことが出来た。
	・職員会及び担当者会議を適切かつ効率的に進めている。	◎	必要に応じて、会議を開き円滑に進むように取り組めた。
	・守秘義務、法令の遵守をし、個人情報の取り扱い及び苦情解決など、適切に行っている。	◎	全職員と情報の取り扱いについて確認している。苦情については解決に向けて、職員と話し合いを設けた。
	・施設内外の設備・遊具などの安全点検を定期的に行っている。	◎	毎月1回点検を行い今年度は遊具の塗り直しをした。
評価			
◎	・各クラスに配慮は必要な子どもたちがいる中、職員同士相談しながら保育を進める事が出来た。		
	・ICT化を進め、保育士等の事務軽減を図ることが出来、計画案などスムーズに立てることが出来た。		
	・保護者と保育園の活動を協力して行うことが出来た。		